

平成27年8月
第49号

ひまわり通信

株式会社ヨコレイ ひまわり発電所

こんにちは、営業技術チームの吉野（ヨシノ）です。
梅雨が明けて本格的な夏がやってきました。梅雨明け以降は、
夏らしい晴天が毎日のように続いております。夏と言えば、
ひまわりの季節ですね。夏空の下、鮮やかな黄色のひまわり
を見ていると明るい雰囲気になさしてくれます。ひまわりは、
「太陽」、「元気」、「笑顔」の象徴とされています。私
もひまわりの様に元気にこの夏を乗り切りたいと思います。
それでは、今月も「ひまわり通信」にお付き合いください。

透明な太陽電池フィルムが商品化に向け開発スタート

三菱化学が、有機薄膜太陽電池を用いた「シースルー発電フィルム」を開発・実用化し、市場開拓をスタートさせると発表しました。この「シースルー発電フィルム」ですが、透明（シースルー）、軽量、フレキシブルという特徴があり、建物などの窓への設置が可能となります。窓用フィルム分野については、この分野で約50年の実績を持つ米スリーエムの日本法人であるスリーエムジャパンと共同して製品開発及び市場開拓を進めていくとのこと。既に、三菱化学はスリーエムジャパンと協力して仙台国際センターの渡り廊下の窓（下記写真）へ窓用フィルムとしてこの「シースルー発電フィルム」を設置し、実証実験を行っています。

また、三菱化学の有機薄膜太陽電池は、これまでもNEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の助成事業でもある「有機系太陽電池実用化先導技術開発」に採択され、建物の窓や建物の外装などへの使用について実証実験を進めてきた経緯があります。

近年、建物の省エネや災害時における機能維持に関する要求が高まっており、快適性を維持しつつ消費エネルギーを削減し、その上で必要なエネルギーを再生可能エネルギー等で賄うことで年間の消費エネルギーを限りなくゼロにする「ZEB（ゼロエネルギービル）」の実現へ向けた取り組みが加速しています。現在、都市部のビル等への太陽光発電モジュールの設置については、場所が限定されるなど設置が困難な状況も多く見られます。また、窓、壁面、トップライト部へ太陽光発電モジュールを設置することは、透明性や色、また重量などの問題があり、ほとんど不可能でした。しかしながら、この「シースルー発電フィルム」を利用することにより、建物の屋根や屋上加え、窓や壁面などを有効活用することができるため、

「ZEB」の実現に向けて大きな効果が期待できると考えられます。

神奈川県としても黒岩知事の下、「薄膜太陽電池普及拡大プロジェクト」の公募を2回にわたって行うなど、薄膜太陽電池の普及拡大に力を入れています。薄膜太陽電池が普及すれば設置できる建物が増え、その結果、薄膜太陽電池の普及が進むと考えられています。この「シースルー発電フィルム」はこれまで設置できなかった窓などに設置できることから、神奈川県の今後の取り組みに、当社としても注目していきたいと思っております。

<仙台国際センター>



日本で働く外国人ビジネスパーソンに 日本のオフィス環境について聞きました。

連日の記録的な猛暑が続いている東京ですが、近年、外国からのビジネスパーソンも大勢働いており、彼ら（彼女ら）も日々この猛暑と闘っています。彼らが日本の「クールビズ」をどのように感じているのか、ダイキン工業が東京で1年以上働く外国人100人を対象としたアンケートを実施しました。まず、日本の夏は「自国よりも暑い」と回答した方が全体の9割に上りました。次に日本のクールビズの政府の推奨設定温度（28℃）については、「28℃では暑い」と答えた方が8割を超え、28℃設定のオフィスは多くの外国人が暑いと感じています。一方で「最も仕事がかどる室温は24℃」という回答が一番多く、政府の推奨設定温度と比べると4℃も差がありました。ただし、28℃の推奨設定温度には「共感できる」と答えた方が53%と省エネや環境への理解を理由とする回答が多かったのが特徴的でした。クールビズを暑いと感じながらもクールビズという取り組みには賛同していますが、体の方はなかなか順応できていないという結果が見て取れました。しかしながら一方で商談時はスーツを着ているなど、日本企業の服装に対する考え方が徹底しきれていないという意見も見受けられました。最後に自身が勤務するオフィスの夏場の環境については、「寒くて不快」も含めて6割以上の方が日本のオフィス環境は不快だと感じています。今後ますます国際化していく日本のビジネスシーン、日本政府推奨のクールビズも10年を超えてそろそろ見直しの時期にきているのかもしれませんが。

<調査対象外国人内訳>

エリア	北米	ヨーロッパ	アジア	中東・アフリカ	合計
人数	26	23	29	22	100

地元保土ヶ谷区新井町の夏祭りに 参加しました。

当社は、2013年に横浜型地域貢献企業の認定を受け今年で2年目を迎えました。地域貢献活動の一環として、8月1日（土）、2日（日）に当社の地元の保土ヶ谷区新井町で行われました夏祭りの準備と後片付けのお手伝いをさせて頂きました。1日（土）には当社の社員も夏祭りに参加させて頂き、大変楽しいひとときを過ごしました。このような活動を通して、地域の皆様とつながりを持ち、お役に立てるよう、今後も活動を続けてまいります。

■詳細は、当社ブログをご覧くださいませ。

<http://ameblo.jp/yokoray/>
<http://ameblo.jp/y-marimoe/>

■横浜型地域貢献企業

<http://www.idec.or.jp/keiei/csr/>



★今月のYOKORAY太陽光発電★ (7/3 ~ 8/3, 32日間)

■今月の実績

※（ ）内は前月の実績

発電した電気量 : 1,187kWh
(850kWh)
東電への売電量 : 453kWh
(285kWh)
売電金額 : 16,761円
(10,545円)

●この期間の横浜市の天気概況

<気象庁HPより>

※（ ）内は前月の実績

「晴」の日数 : 15日 (4日)
日照時間 : 237時間 (112時間)
平均気温 : 26.6℃ (21.8℃)

私たちが『ひまわり通信』も
担当しています by 営業技術チーム



アゲナ



ヨシノ



イノウ



クロダ

私たちヨコレイはおお客様の『エコ環境創り』をお手伝い致します



ひまわり

太陽電池の取付調査・工事

ひまわり発電所

TEL 0120-37-4501

FAX 045-381-4392

<http://www.tanoshiku-eco.com/>

H27年8月下旬
ひまわり発電所HP
リニューアル予定!

『お客様へ貢献する設備のコンビニエンス・カンパニー』

株式会社ヨコレイ

TEL 045-381-4501

FAX 381-4392

横浜市保土ヶ谷区新井町657

<http://www.yokoray.co.jp/>

空調機や
水まわりの
修理・ご相談は

ひまわり発電所

検索

